

令和3年11月の法人税務についてのお知らせ

	国 税 の 種 類	納付・提出期限		提出先
1	源泉所得税 (令和3年10月分)	納付期限	令和3年11月10日(水)	税務署
2	法人税・消費税等 (令和3年9月30日決算法人)	確定申告書の提出期限	令和3年11月30日(火)	税務署
3	法人住民税・法人事業税 (令和3年9月30日決算法人)	確定申告書の提出期限	令和3年11月30日(火)	市長村長・ 都道府県知事
4	法人税・消費税等 (令和4年3月31日決算法人)	中間申告書の提出期限	(直前課税期間の年税額が 48万円超400万円以下) 令和3年11月30日(火)	税務署
<p>※注 1年決算法人で算出された中間納付税額が以下のときは、申告不要です。 法人税の中間申告納付額 10万円以下・消費税の中間申告納付額 24万円以下</p>				
5	法人住民税・法人事業税 (令和4年3月31日決算法人)	中間申告書の提出期限	令和3年11月30日(火)	都道府県知事 ・市町村長

税理士さんの豆知識

証券会社の売買手数料と消費税の取扱い

証券会社に支払う売買手数料は消費税が課税される課税仕入取引です。この課税仕入れが「どの売り上げ(＝用途)のために支出されたのか」といえば、株式を売却するためです。株式などの有価証券の譲渡は、消費税が課税されない非課税売上取引です。したがって、この課税仕入れは、非課税売上げにのみ対応する課税仕入れ(非課税売上対応)といえます。

共通対応(課税売上げと非課税売上げに共通する課税仕入れ)

課税売上げと非課税売上げに共通する課税仕入れは消費税法の定めにより課税売上割合等に按分されます

かに星雲から巨大な電波パルス(GRP)

かに星雲から高エネルギーのプラズマは吹き出している。周期的な電波パルスが通常の10倍から1000倍ほどの明るさで巨大な電波パルス(GRP)が発散されている。放出のメカニズムははまだ解明されていない。巨大電波パルスの強度を温度に換算すると物理学で扱える温度の上限(プランク温度1032K)を超えるとされる。

かに星雲は牡牛座の角の先端(ゼータ)星の北1.5°に位置する。

プラズマ

温度の上昇により物質は変化していく。氷は水に、水是水蒸気にとるように、物質は固体から液体に、液体は気体に、そして気体の温度が上昇すると気体は解離し分子から原子に変化する。更に温度が上昇すると原子核を回っている電子が分離する。解離した電子は正イオンと電子に分かれる(この現象を電離という)。電離によって荷電粒子を含む気体をプラズマという。